

障害者支援施設 ひのきの杜

施設入所支援 32名 生活介護 40名 短期入所 7名 日中一時 5名

活動の充実化

療法士チームが中心になって活動のみえる化を実施しました。利用者の活動やリハビリでの実績に応じて、シールを貼っていき全体でゴールを目指す取り組みです。利用者には好評で、運動に対するモチベーションにつながり活動量が増えた利用者もいました。活動成果は、全国身体障害者施設協議会研究大会で実践発表しました。

また、曲ヶ島エリアの事業所(ひのきの杜、ひのきの杜共生、はまなす、けやきの家)で協力をして、各事業所の特色を活かした活動を提供する取り組みを9月からスタートしました。ひのきの杜の強みとして、療法士が配置されていることが挙げられます。療法士ならではの視点を、曲ヶ島エリアの事業所間で共有できるのが大きなメリットとなりました。今後も、利用者の日中活動の質の向上を目的として活動を継続していきます。



地域交流イベント



ひのきの杜の地域交流を目的としたスペース「mirai」では、地域の小学生を対象として栃木市社会福祉協議会が開催した「サマーボランティアスクール」の受入、けやきの家が主体となった「ミニマルシェ」の開催、保護者ボランティアが行う「陽だまり活動」などを行いました。また、地域の団体やキッチンカーを呼び行った地域交流秋祭りの開催や、ひのきの杜のボランティアグループ『ラッキークローバー』による地域の学校への公演活動を通して、心のバリアフリーの推進を行うとともに、利用者の社会参加の促進につなげました。

施設内研修一覧

職員の知識・技能や支援の質の向上に向けて以下の研修を実施しました。

- ・介護技術研修 ・BCM研修 ・障害者権利条約に関する研修
- ・虐待防止及び身体拘束に関する研修 ・アンガーマネジメント研修
- ・不適切ケアに関する研修 ・接遇、マナーに関する研修
- ・ユマニチュード研修 ・口腔ケア ・ポジショニング ・腰痛予防
- ・医療支援力研修(感染症対策、吐しゃ物対応、救急対応、褥瘡など)



SDGsの取り組み



- ・障害者やその家族が地域で安心して生活することができるように、栃木市ぐらしだいじネット緊急支援事業の協力(地域生活支援拠点として必要な、駆けつけ応援及び緊急短期入所)
- ・能登半島地震の義援金
- ・miraiの地域への開放
- ・施設の屋根に太陽光パネルの設置。 など